

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	山南地域統合中学校	階数	地上3F
建設地	兵庫県丹波市山南町谷川地内	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内 用途地域指定なし	平均居住人員	300人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,600時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年5月10日
敷地面積	9,873 m ²	作成者	(株)教育施設研究所
建築面積	4,128 m ²	確認日	2021年5月12日
延床面積	7,354 m ²	確認者	(株)教育施設研究所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 89%
③上記+②以外の 89%
④上記+ 89%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境
Q2 サービス性能
Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー
LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 高断熱化や高効率設備の採用、自然エネルギーの活用等による省エネルギーな施設としました。また地場産木材の利用や、周辺環境への影響抑制、景観への配慮等による地域環境との共生を目指した施設としました。		0
Q1 室内環境 廊下等の非居室も含めた断熱施工としました。開口部には複層ガラスを用いました。コンクリートスラブと置き屋根によるダブルルーフとし最上階の熱負荷を大幅に低減しました。	Q2 サービス性能 耐震壁をなくし、躯体と内装設備スペースを分離したスケルトンインフィルによる設計とし、将来の改修等が行いやすい設計としました。設備スペースを共有部よりメンテナンス可能な設計としました。	Q3 室外環境 (敷地内) 地域景観に調和する屋根による意匠としました。前面道路の圧迫感抑制や地形になじむ、セットバックした建物形状としました。内装の一部に地域の伝統産業である檜皮葺を用いました。
LR1 エネルギー LED照明や人感センサー機器等の高効率な設備機器を採用しました。太陽光発電パネルを設けるとともに、発電量や消費電力量がモニタリング可能なシステムとしました。ピット空間を利用した冷気利用、小屋裏空間を利用した暖気利用等の自然エネルギーの活用を積極的に行い	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用しました。建設材料にはリサイクル材(再生砕石や現場発生土)を利用する設計としました。	LR3 敷地外環境 屋内運動場について、北側住宅や東側への日影を最小限に抑える屋根形状としました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される